

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 19 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### ◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・10/18 水処理設備の電源強化工事に伴い、6:09 セシウム吸着装置、9:04 第二セシウム吸着装置を停止。
- 10/19 13:29 水処理設備の電源強化工事が終了したため、第二セシウム吸着装置を再起動。
- ・10/18 11 時頃、セシウム吸着装置にてH2スキッドNo. 2ポンプのモーターの交換作業を行おうとしていたところ、同スキッド内に深さ 15cm 程度の水溜り(約3m<sup>3</sup>)を発見。また、発見時に水漏れは停止していることを確認。その後、当該モーター交換作業を中断し、水中ポンプによる水たまりの排水を実施。現在、原因について調査中。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

### ◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・10/13 14:17～10/18 9:10 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/13 14:02～10/18 9:16 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・10/19 移送予定なし
	・仮設タンク→メガフロート	・10/19 10:00～16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (10/19 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,611 mm(水位上昇累計: 3,828 mm) 10/18 7:00 から 19 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,928 mm(水位上昇累計: 3,654 mm) 10/18 7:00 から 87 mm 上昇

- ・10/19 9:44～14:05 サイトバンカ建屋→プロセス主建屋への移送を実施。

### ◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/19 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (10/18 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,919 mm (10/18 7:00 から 7 mm 下降)	O.P.+ 4,379 mm (10/18 7:00 から 18 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,033 mm (10/18 7:00 から 67 mm 上昇)	O.P.+ 3,056 mm (10/18 7:00 から 62 mm 上昇)	O.P.+ 3,130 mm (10/18 7:00 から 53 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,205 mm (10/18 7:00 から 14 mm 下降)	O.P.+ 2,989 mm (10/18 7:00 から 79 mm 上昇)	O.P.+ 3,140 mm (10/18 7:00 から 66 mm 上昇)
4号機	—	O.P.+ 2,999 mm (10/18 7:00 から 36 mm 下降)	O.P.+ 3,034 mm (10/18 7:00 から 22 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

・10/18 に採取した福島県沿岸4地点、沖合3地点の主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (10/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22～)	24.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21～)	27.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33～)	25.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08～)	35 °C

【4号機】・8/20～ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

<原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (10/19 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 3.6 m <sup>3</sup> /h)	70.4°C	72.5°C	121.6 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 3.5 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約 7.1 m <sup>3</sup> /h)	75.4°C	81.2°C	119 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.1 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約 8.0 m <sup>3</sup> /h)	70.1°C	72.5°C	101.5 kPaabs

【4号機】【5号機】【6号機】 特に変化なし。

<その他>

- ・4/10～ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/28～ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事实施中。
- 8/10～9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10～10/14 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施。
- 10/15～ 引き続き1号機原子炉建屋カバー設置に関わる関連工事を実施中。
- ・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/18 17:55 2号機原子炉格納容器への窒素封入量が減少(約 11m<sup>3</sup>/h)していることが確認されたため、元の封入量へ調整(約 14m<sup>3</sup>/h)。
- ・10/19 6号機残留熱除去海水系ポンプ(C)の流量および圧力に低下傾向がみられたため、14:30 残留熱除去系(A系)による原子炉の冷却を停止した後、残留熱除去海水系ポンプ(C)を停止。その後、残留熱除去海水系ポンプ(C)を再起動し、当該ポンプが所定の性能にほぼ復帰したことを確認したため、15:02 残留熱除去系(A系)による原子炉の冷却を再開。本停止に伴い、原子炉水温は 21.6°Cから 22.1°Cへ一時的に上昇。

以上